

第30回日本障がい者スポーツ学会長野大会の1年延期について

第30回日本障がい者スポーツ学会を2021年2月27日（土）、28日（日）に、長野県障がい者福祉センター「サンアップル」（長野市）を会場に開催すべく、関係者と協議・検討を重ねながら、鋭意準備を進めてまいりました。

しかしながら、未だ収束の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、断腸の思いではありましたが、県有施設を会場としての現地開催は困難であることを学会理事会にお伝えするとともに、コロナ禍が落ち着いた折にはぜひとも長野県で開催したいとの要望を率直にご相談申し上げたところ、「長野大会の開催を1年延期する」という方針を理事会で正式に決議していただくに至りました。

学会員の皆さま、特に学会発表の心づもりを持ってご準備いただいていた方々や、長野県に来ることを楽しみにご予約いただいていた方々、そして、本大会に向けて既にご協力をいただいていた方々には大変申し訳ないご報告となりますが、第30回日本障がい者スポーツ学会長野大会の開催を1年延期し、2021年度中（2022年3月末日まで）に現地開催すべく改めて準備を進めてまいります。何卒ご理解のほどよろしく願いいたします。

本来であれば、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会が成功裡に終わり、長野県にとっては、2027年に開催内定を受けた全国障害者スポーツ大会の開催に向かって一歩踏み出す絶好のタイミングに、県内外から障がい者スポーツ関係者が一堂に会し、未来志向の議論ができる意義深い機会になると想定していたことから、私ども関係者も本学会大会の開催を心待ちにしていました。一方、2020年3月のTokyo2020延期決定、4～5月の緊急事態宣言発令、同6月に鹿児島国体・全障スポ延期決定、と続く中で、現地としても平常時と同様の学会開催を想定することは困難となりました。それでも現地開催を何とか実現すべく、3密回避のための会場設営や人数制限、WEB配信と併用したハイブリッドスタイルでの開催方法なども模索してまいりましたが、7月以降も長野県内での感染拡大が収まる様子がなく、県外との往来についても慎重に対応する方針が継続的に示されていたことから、この期に及んで上記の通り開催困難とのご相談に至った次第です。

1年の延期でも新型コロナウイルス感染症の完全収束が保証されるわけではありません。しかし、その間にwithコロナでの活動手法が洗練され、それに準じて安全で意義ある大会の開催を目指すとともに、withコロナでの障がい者スポーツをテーマの1つに取り上げることも重要と考えています。また予定通りであれば、同時期は冬季2022北京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間にもなります。諸々を十分に考慮しながら、皆様からは「1年延期しただけのことはあった」と評価していただける学会にしたいと思っておりますので、ぜひとも2021年度の第30回長野大会にご参加いただきたく改めてお願い申し上げます。

2020年9月

大会長 岡田 真平